

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)(公表)

公表：令和 3年 3月 26日

事業所名 デイサービスセンターまりん2

保護者等数(児童数) **18** 回収数 9 割合 50%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			2		清潔で安全なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			2		有資格者の職員を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			2		ご利用者様に安心安全な空間で過ごして頂けるように努めています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9					半年に一度のモニタリングでの保護者様からの情報をもとに個別支援計画を作成しています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8			1		創作活動、音楽活動など、職員で話し合いながら提供させていただいています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	5	コロナの関係で外部の方との交流はないと思うので	これから少しずつでも機会を持つことだ出来たらと考えています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	2				ご契約時やモニタリング時に説明させていただいています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					支援記録の文章や送迎時に口答でご利用者様の様子をお伝えします。メールや電話でもお伝えいたします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					半年に一度のモニタリングでの保護者様からの情報をもとに個別支援計画を作成しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	1	6	コロナのため、交流はできないと思うので	行事などを通して少しずつ機会を作っていきたくと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			2		電話、メールなどを使いできる限り迅速な対応を心がけています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		ご利用者様や保護者様の気持ちを大切に考えています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8			1		会報、ホームページ、ブログ等で活動の様子をお伝えしています。年に一度のアンケートと自己評価も実施しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	9					個人情報の取り扱いについては十分注意しています。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9					ご契約時やモニタリング時に説明させていただいています。避難訓練は月に一度実施しています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9					月ごとに内容、実施、曜日をかえて訓練しています。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9					楽しいと思っただけの時間の提供を心がけています。
	18 事業所の支援に満足しているか	9					宿題やプリント、パソコン入力などに取り組んでいただける時間を作っています。また音楽や創作などの活動も今まで通り実施していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)(公表)

公表 : 令和 3年 3月 26日

事業所名 デイサービスセンターまりん2

保護者等数 (児童数) 0

回収数 0

割合 0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか					現在のご利用者様がない	清潔で安全なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか						有資格者の職員を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか						ご利用者様に安心安全な空間で過ごして頂けるように努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか						常に清潔に心がけ安心して活動して頂ける環境づくりをいたします。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画(個別支援計画)*2</u> が作成されているか						半年に一度のモニタリングでの保護者様からの情報をもとに個別支援計画を作成します。
	6 児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						児童発達支援ガイドラインをもとに個別支援計画を作成いたします。
	7 児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援が行われているか						計画会議を行い個別支援計画について話し合った上で支援させていただきます。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか						創作活動、音楽活動など、職員で話し合いながら提供させていただきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか						少しずつでも機会を持つことだ出来たらと考えています。
保護者 への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか						ご契約時やモニタリング時に説明させていただきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画(個別支援計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされたか						児童発達支援ガイドラインの内容をお伝えし個別支援計画を見て頂きながら説明させていただきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(<u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等)が行われているか						ペアレントトレーニングの研修を受けた職員で、モニタリングを実施させていただきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか						支援記録の文章や送迎時に口答でご利用者様の様子をお伝えします。メールや電話でもお伝えいたします。
	14 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか						半年に一度のモニタリングでの保護者様からの情報をもとに個別支援計画を作成いたします。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか						行事などを通して少しずつ機会を作っていきたいと考えています。
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか						電話、メールなどを使いできる限り迅速な対応を心がけます。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか						ご利用者様や保護者様の気持ちを大切に考えています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか						会報、ホームページ、ブログ等で活動の様子をお伝えしています。年に一度のアンケートと自己評価も実施しています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか						個人情報の取り扱いについては十分注意いたします。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか						ご契約時やモニタリング時に説明させていただきます。避難訓練は月に一度実施しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか						月ごとに内容、曜日をかえて訓練しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか						楽しいと思っただけの時間の提供を心がけています。
	23	事業所の支援に満足しているか						宿題やプリント、パソコン入力などに取り組んでいただける時間を作っています。また音楽や創作などの活動も今まで通り実施していきます。

(注釈)

*1「本人にわかりやすく構造化された環境は」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施される事がそうていされています。

*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○この障害発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。